

～当社100周年の歴史の節目に
将来の駅周辺開発の核となるような駅を目指します～
所沢駅 駅舎改良工事に着手
エキとライフサポートの新たな融合が始まります！

西武鉄道株式会社（本社：埼玉県所沢市、社長：後藤高志）では、所沢駅（所沢市くすのき台1-14-5）の建替えについて、このたび工事着手することを決定いたしました。

所沢駅は池袋線と新宿線とのターミナル駅で、乗り換えのお客さまを含めると一日約21万人のお客さまが利用される当社線でも最重要駅のひとつであり、今回の建替により快適さと魅力ある「駅」として生まれ変わるよう計画しています。

計画内容としては、駅の中央部分に新駅舎を構築し、お客さまがより快適に駅をご利用いただけるよう、バリアフリー化やエスカレーターの増築等を行います。また、壁面緑化や屋根にはテント幕を用い自然光を採り入れ、明るく環境にやさしい駅を目指します。

商業スペースに関しては、“Smile Station～ほほえみあふれる駅ナカショップ”をコンセプトに日常生活をサポートするベーシックな物販や、利便性を追求した中でも飽きのこないクイックなグルメの提供、また、趣味性や付加価値を加えた食物販などを予定しています。さらに働く女性の支援を目的とし、子育て支援施設等を検討してまいります。

今後、関係機関等との協議を進め、早期に準備工事に着手し、当社創立100周年の節目であり、更に池袋線が東京地下鉄副都心線を通じて東急線との相互直通運転も開始する予定の2012年度の完成を目指します。

なお、駅舎改良の事業化にあたっては、所沢市をはじめとした行政機関等との協議を密接に行い、街の顔にふさわしい所沢駅を構築していきます。今後は駅だけでなく周辺の街づくり計画とも協調した検討も合わせて進めていきます。

（※開発計画の概要は別紙のとおりです。）



＜所沢新駅舎構内＞
～駅改札からコンコースを見るイメージ～



＜所沢新駅舎外観＞
～西口上空からのイメージ～

《所沢駅駅舎改良事業化の概要》

1. 全体コンセプト

「駅を中心に、多様多彩な文化の交流拠点としての商業施設及び住民とまちに開かれた文化交流スペース」のコンセプトのもと、交流拠点にふさわしい駅舎を作ります。

駅舎の空間は「駅が広場になる。街になる。」をテーマとし、約 3,000 m²の流線型の大屋根が、駅エリアとショップエリアを大きく覆う計画としました。テント屋根からのおだやかな光があふれる広大なコンコースと、それを囲むショップエリアがかつてない駅とショップの融合を実現し、将来にわたって所沢駅周辺の交流拠点となるようにしました。

一新される西側出入口は、ガラスのカーテンウォールを用い、まちに開かれた駅を印象付け、所沢の街を訪れる人にも、地域の方にも「所沢のまち」の顔として誇れるデザインとしています。

2. 駅エリアのアウトライン

① コンセプト

西武鉄道のフラッグシップとなる駅舎としてのデザインはもとより、広いコンコースを計画し、お客さまの動線をスムーズにすることで安全・安心で誰もが使いやすい駅を実現するとともに、街と駅との一体感を高め、街づくりの基点となる駅を目指します。

② 新駅舎の計画概要及び特徴

- ・改札内通路・・・広大なコンコースにより乗り換え混雑の解消を図ります。
- ・橋上改札・・・ホーム中央の線路上空に設ける新しい橋上駅舎に現在の西口・南口改札を統合します。
- ・自由通路・・・新しい橋上駅舎の東西自由通路は幅約 11 m で設置します。また、この自由通路と現在の南口とを結ぶ連絡通路を新設し、新駅舎からワルツ所沢へのアクセスを確保します。
- ・バリアフリー・・・各ホーム及び自由通路にエレベーター、橋上コンコースに多機能トイレを設置しバリアフリー化を図ります。
- ・旅客トイレ・・・新しい橋上駅舎にはゆったりとした旅客トイレを設置します。
- ・プラットホーム・・・全てのホームを転落時に安全に退避できるホームにします。また、ホームにおける柱を減らすことにより、お客様の動線をスムーズにすることで、安全・安心で誰もが使いやすい駅を実現します。

3. 商業施設エリアのアウトライン

① コンセプト

「Smile Station～ほほえみあふれる駅ナカショップ」をコンセプトに、沿線イメージアップに繋がるサービスを提供する店舗とし、地域の皆さまのニーズに合った多彩な店舗、施設等を展開します。

② 計画概要及び特徴

日常生活における利便性・快適さをサポートするベーシックかつ都心の感覚も散りばめた店舗展開をします。また、子育て支援機能など働く女性にとっても便利なサービスも計画しています。

以上